



1873→2023 荒海小 創立150周年たより

未来につなごう 荒海の元気と笑顔



☆ 創立当時の荒海小学校の歴史などを綴ってきた『創立150周年たより』も最終号となります。これまで、たくさんの地域の皆様にご協力いただきました。感謝申し上げます。

さて、最後に、65名の児童諸君が元気いっぱい、笑顔いっぱいで生活する現在の荒海小学校で行われた「元気っ子学習発表会」で、6年生が発信した劇「今年は荒海小学校創立150周年！荒海小の歴史にせまる！」について掲載いたします。

場面： 150年前の龍福寺 糸沢小の子供達が、「未来の学校を見せてあげよう」という仏像様に導かれ、150年間の荒海小学校を旅して回り、明治6年の教室に戻ったとき。



仏 像	どうだったかな??いろいろな時代の荒海小学校を見て。	
子どもA	給食、食べてみたい!!	
子どもB	修学旅行や遠足にも行ってみたいなー。	
子どもC	外国との戦争って…。お父さんの分も頑張ってた。大変なことだよ。	
子どもA	この糸沢小学校が荒海小学校になって、150年も続くなんで…。	
子どもB	150年ってことは、ぼくらの子供の子供の子供の…。分からないや。	
子どもC	150周年夏祭りの仮装盆踊り、すごく楽しそうだったなー。	
子どもA	荒海小って、もっともっと続くのかな？	
仏 像	私の力で、知ることができるのは150年後まで。その先は分からないんだ。	
子どもB	ずーっと続くといいね。荒海小学校!!	
子どもC	ぼく、勉強やっぱりがんばるよ。戦争などで勉強があまりできない未来もあった。勉強ができることは「幸せ」なことだったんだ。	
子どもA	あんなに嫌がっていたのに。	
子どもB	私も。今私達が頑張れば、荒海小が150年よりもっともっと続くかもしれないよ。	
子どもC	そうだね。ぼくもがんばる。めんどくさい計算も漢字も。	
仏 像	うん、うん。その意気だ。	
子どもA	「心一つに 荒海魂」って、未来からの言葉だったんだね、仏像さんっ!	
仏 像	そうだよ。こっそり未来をのぞいたのだ。では、心一つに荒海魂でがんばろう!	
子ども全	うん!!! そうだね。みんなで、がんばろう!!	
みんなで	心一つに〜っ、(ジャンプしながら) 荒海魂!!!	

荒海小物語・エンディング ～6年生のことば～

ぼくたち6年生は、この2年間、荒海小学校の歴史について調べてきました。

荒海小学校の始まりは、糸沢の龍福寺で、大変な計算をしていたこと。でも、教科書に落書きをするなど、ぼくらと変わらない子どもたちがいたこと。雪の中をかき分けて、苦労して登校していた時代があったこと。戦争中は物が不足し、校庭が畑になったこと。昭和になり、たくさんの行事が始まり、給食やスクールバスの運行が始まったこと。平成になり「心一つに荒海魂」が生まれたエピソードなど…。

いろいろな方々にお世話になり、様々な時代の荒海小学校のこと、先輩達みんなが一生懸命に学んでいたことなどを知ることができました。そして150年という歴史の長さ、重さを感じました。

この150周年の節目に6年生として、この場に立っていることは本当に幸せなことだと思います。卒業までの残された時間、これからもずっとずっと荒海小学校が続いていくよう、自分たちができることを考え、実践していきたいです。

